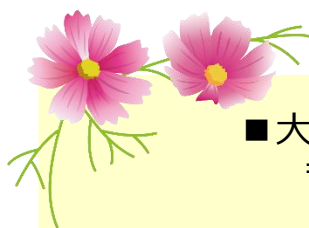


大原訪問看護ステーション本部の移設と サテライト上町の開設について



当財団では、地域住民に根ざした訪問看護サービスをより充実していくため、平成30年10月1日より大原訪問看護ステーション本部を福島市鎌田（大原医療センター内）へ移設し、福島市上町（大原総合病院内）に大原訪問看護ステーション サテライト上町を開設する事といたしました。

当ステーションでは子どもから高齢者、症状や障害が重い利用者様へもサービスを行って参りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



- 大原訪問看護ステーション 本部
〒960-0102 福島市鎌田字中江 33（大原医療センター 2階）
- 大原訪問看護ステーション サテライト上町
〒960-8611 福島市上町 6番1号（大原総合病院内）

【訪問看護に関するお問い合わせ先】

平成30年9月まで	平成30年10月以降
TEL : 024-522-3456 FAX : 024-526-0332	TEL : 024-573-8210 FAX : 024-573-8202



「100万人のクラシックライブ」を開催しました

平成30年9月15日(土)大原総合病院5階講堂(レストラン)にて、院内コンサート「100万人のクラシックライブ」を開催いたしました。若きプロの演奏者たちが全国各地で活動しているこのコンサートシリーズは、大原総合病院では初めての開催となりました。

今回はヴァイオリニスト柳田茄子さんとピアニスト松橋朋潤さんにご出演いただきました。

数々のコンクール受賞歴を持つプロならではの迫力、そして東京藝術大学附属高から同級生、というお二人ならではの息の合った演奏が、約70名の観客を魅了しました。

松橋さんが、当院のピアノを非常に気に入っていただき、急遽プログラムを一部変更するといううれしいサプライズもあり、1時間・全7曲、あっという間の楽しいひとときとなりました。



Information

平成30年8月28日(火)福島県病院薬剤師会による第8回「東北地区薬業連携研究会」が大原総合病院5階講堂(レストラン)で開催されました。

東北地区が一丸となり“薬業連携”を推進していくための研究会であり、第8回となる今回は、当院小児科主任部長の鈴木重雄医師に、「ガイドラインから見た最近の小児疾患の治療と薬剤師の方との情報共有に向けて」という内容でご講演をいただきました。

後半では石井薬局本店の石井健介先生司会のもと、ワールドカフェ方式でのお薬手帳運用に関する検討会を行いました。患者さまに安全・安心してお薬を飲んでいただくためには、お薬手帳を今後どのように使用していけばよいのか、114名の参加者により活発な意見が出た勉強会となりました。



平成30年9月14日(金)桜の聖母短期大学生活科学科で栄養士をめざしている2年生3名が、大原総合病院6階こどもセンター「わくわくルーム」で、食育の実習を行いました。

「“秋の食べもの”を知ろう!」をテーマに、箱の中の野菜を手探りで触って当てるクイズをしたり、実習生が作った“さつま芋羊羹”を、子どもたちが好きな形に型ぬきをして、みんなでいただきました。

子どもたちからは「おいしい!」「おばあちゃんにもたべさせたい!」などの声があり、秋の味覚を味わいながらの食育は大好評でした。



大原記念財団の理念 人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一歩先行く医療を探究し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原総合病院 総合患者支援センター

発行者 一般財団法人大原記念財団

理事長 平子 健

電話 024(526)0371 ダイヤルイン

FAX 024(526)0935

代表 024(526)0300

住所 福島市上町6番1号

大原記念財団職員行動規範 10カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。